

# 平成31年度（令和元年度）東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」 結果の概要について

## 1 目的

- (1) 都教育委員会は、学習指導要領に示されている教科の目標や内容の実現状況を把握し、全都における教育行政施策に生かす。
- (2) 区市町村教育委員会は、教育課程や指導方法等に関わる自地区の課題を明確にし、その充実・改善を図るとともに、自地区の教育行政施策に生かす。
- (3) 各学校は、教育課程や指導方法等に関わる自校の課題・解決策を明確にし、児童・生徒一人一人の学力の向上を図る。
- (4) 都教育委員会は、都民に対し、東京都の公立小・中学校等における児童・生徒の学力の状況について、広く理解を求める。

2 実施日 令和元年7月4日(木)

3 対象学年 都内公立小学校 第5学年(悉皆) 都内公立中学校及び中等教育学校 第2学年(悉皆)

## 4 調査内容

- (1) **教科に関する調査**  

<b>【小学校】</b> 4教科:国語・社会・算数・理科	<b>【中学校】</b> 5教科:国語・社会・数学・理科・外国語(英語)
国語、社会、算数・数学、理科、外国語(英語)の学習指導要領に示されている目標や内容に基づいた事項について、ペーパーテスト形式により調査する。	
- (2) **児童・生徒質問紙調査** 学習と関わりのある児童・生徒の意識や生活状況について質問紙形式で調査する。  

<b>学校質問紙調査</b>	学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備状況について質問紙形式で調査する。
----------------	---

## 5 調査結果

東京都の示す最終結果より引用 武蔵野市：自校採点数値から算出

【平均正答率 %】

	小学校 第5学年				中学校 第2学年			
	武蔵野市		東京都		武蔵野市		東京都	
	習得目標値の問題の平均正答率	教科全体の平均正答率	習得目標値の問題の平均正答率	教科全体の平均正答率	習得目標値の問題の平均正答率	教科全体の平均正答率	習得目標値の問題の平均正答率	教科全体の平均正答率
国語	84.0 (+5.4)	73.6 (+6.6)	78.6	67.0	83.2 (+7.2)	79.0 (+7.1)	76.0	71.9
社会	73.7 (+8.2)	74.3 (+8.0)	65.5	66.3	66.9 (+8.4)	59.9 (+8.8)	58.5	51.1
算数 数学	71.6 (+8.6)	69.8 (+9.8)	63.0	60.0	68.1 (+9.3)	64.1 (+9.6)	58.8	54.5
理科	78.5 (+6.0)	63.7 (+7.1)	72.5	56.6	60.5 (+4.9)	54.3 (+4.8)	55.6	49.5
英語					71.2 (+10.2)	68.0 (+10.5)	61.0	57.5

※武蔵野市の結果の下段( )は、「都との差」。「都との差」については、事務局で追記した数値。

## 6 今回の調査から分かる本市の児童・生徒の学力の状況

- 習得目標値の問題、教科全体の平均正答率は東京都の平均正答率を上回っている。到達目標値達成の児童・生徒の割合が高いが、習得目標値未達の児童・生徒がどの教科にも見られる。  
 ※習得目標値の問題・教科書例題レベルの問題 到達目標値の問題・教科書例題レベルの問題及び教科書練習問題レベルの問題
- 小学校国語では、目的や意図に応じ、手紙等の実用的な文章を書く指導の充実、算数では、資料をもとにして筋道立てて考える指導の充実、中学校社会では、課題を追究したり解決したりする活動の指導の充実、理科では、表やグラフを活用した指導、英語では目的に応じて必要な情報を読み取る指導の充実を図っていく必要がある。